

## コンクリート診断士試験完全攻略問題集2018年版 訂正箇所

2018年2月21日

読者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、下記のとおり修正してお読み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 74 ページ

(C) の解説の字送りが乱れていますので、下記の通り訂正いたします。なお、図の名称は健全部と欠陥部の表面温度変化モデル（出典：コンクリート診断技術'16 [基礎編]，p.139）となります。

(C) **サーモグラフィ法**は、内部に生じた空隙が断熱層となり、日射や気温変化に起因して生じる健全部と欠陥部の表面温度の差を利用して、**内部欠陥**を検出する手法である。図に健全部・欠陥部の表面温度と時刻の関係のモデルを示す。昼間は欠陥部の表面温度は上がり、夜間は冷まされるため、「誤」である。

以上の結果、**正解は (2)** となる。

289 ページ [問題 26] に下記の表を挿入してください。

	(A)	(B)	(C)	(D)
(1)	小さかった	陽 極	陰 極	マイクロセル
(2)	小さかった	陰 極	陽 極	マイクロセル
(3)	大きかった	陰 極	陽 極	マクロセル
(4)	大きかった	陽 極	陰 極	マクロセル